

小規模企業景気動向調査 [2026年1月期調査]

～コスト増や需要鈍化に加え大雪の影響も重なり、業況が悪化した小規模企業景況～

＜産業全体＞

1 月期の産業全体の景況は、売上額 DI が大幅に低下した。建設業を除き全業種で全 DI が低下、前月とは対照的な結果となった。前年同月比でも売上額 DI は大幅に減少、コスト増等が収益を圧迫している。一部地域では大雪の影響やインバウンド市場の減速要因が重なったことにより、小売業やサービス業を中心に売上悪化に苦しみ声が見られた。

	DI	12 月	1 月	前月比	前年 同月比
売上額		8.2	3.2	▲ 5.0	▲ 4.2
採算	▲	16.5	▲ 18.2	▲ 1.7	▲ 0.7
資金繰り	▲	14.3	▲ 15.5	▲ 1.2	▲ 0.8
業況	▲	12.5	▲ 14.5	▲ 2.0	▲ 1.7

＜製造業(食料品、繊維、機械・金属)＞原価高騰を背景に売上額 DI が急低下し、採算悪化が進む製造業

製造業は売上額・業況 DI が大幅に低下、採算・資金繰り DI は小幅に低下した。食料品、機械・金属関連では原材料費等の高止まりが採算を圧迫、価格転嫁の遅れが資金繰りをひっ迫させている。繊維関連では原材料費の高騰や高単価案件の減少等により、収益性の確保が困難となり、売上額 DI は前年ベースで約 15 ポイント低下した。業種ごとに差異はあるものの、原価高騰を踏まえた適切な価格設定やコスト構造の見直し等が一層求められる。

	DI	12 月	1 月	前月比	前年 同月比
売上額		14.4	3.8	▲ 10.6	▲ 6.1
採算	▲	16.5	▲ 20.1	▲ 3.6	▲ 1.2
資金繰り	▲	13.6	▲ 16.9	▲ 3.3	▲ 1.9
業況	▲	11.0	▲ 16.6	▲ 5.6	▲ 1.8

＜建設業＞季節要因による需要と人手不足の制約が交錯する中、継続的な収益確保が求められる建設業

建設業は、売上額・資金繰り・業況 DI が小幅に上昇し、採算 DI はわずかに上昇した。資材高騰や金利上昇等の影響で、新築・リフォーム需要鈍化の声が散見されたが、降雪地域では除雪関連需要が業況を押し上げた。ただし季節要因の側面が強く、人手不足による受注機会の逸失もみられることから、季節需要に左右されない持続的な収益基盤の強化と売上機会の確保に向けた取組が引き続き求められる。

	DI	12 月	1 月	前月比	前年 同月比
売上額		9.0	11.5	2.5	0.4
採算	▲	16.1	▲ 14.3	1.8	2.2
資金繰り	▲	16.6	▲ 13.9	2.7	1.5
業況	▲	11.8	▲ 8.6	3.2	▲ 0.7

＜小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)＞需要の低迷から、売上額 DI がマイナスに転じた小売業

小売業は、売上額 DI が大幅に低下、採算・資金繰り・業況 DI は小幅に低下した。消費者の節約志向が継続し、売上額 DI は 2025 年 6 月期以来、7 カ月ぶりに 0 ポイントを下回った。衣料品・耐久消費財関連は、来店客数の減少や大手店舗への顧客流出が続き、需要の伸びは限定的である。食料品関連は、大雪による外出控えや仕入先の廃業等により、販売環境が不安定な事業者も見られ、販路拡大や新規顧客獲得に向けた取組が課題である。

	DI	12 月	1 月	前月比	前年 同月比
売上額		4.7	▲ 0.8	▲ 5.5	▲ 3.2
採算	▲	19.6	▲ 23.3	▲ 3.7	▲ 1.6
資金繰り	▲	16.0	▲ 19.2	▲ 3.2	▲ 1.8
業況	▲	17.9	▲ 20.9	▲ 3.0	▲ 1.5

＜サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)＞経費増・来客減・大雪の三重苦に直面するサービス業

サービス業は、売上額 DI が大幅に低下、業況 DI は小幅に低下し、採算・資金繰り DI はわずかに低下した。旅館関連は、大雪による来客数の減少やインバウンド市場の落ち着きが見られたことから、売上額が悪化したとの声が多く、前年同月比で約 13 ポイント低下。理・美容関連は、光熱費や人件費増が続く中、高齢者層への配慮から価格転嫁が進まず採算が悪化。特に日本海側は大雪の影響で、来店頻度が長期化し、収益確保に苦慮している。

	DI	12 月	1 月	前月比	前年 同月比
売上額		4.5	▲ 1.5	▲ 6.0	▲ 7.6
採算	▲	13.9	▲ 15.3	▲ 1.4	▲ 2.3
資金繰り	▲	10.9	▲ 12.1	▲ 1.2	▲ 1.4
業況	▲	9.0	▲ 12.0	▲ 3.0	▲ 3.0

調査概要

- ・調査対象：全国 303 商工会の経営指導員（有効回答数：248/回答率 80.2%）
- ・調査時点：2026 年 1 月末
- ・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。